

4. 将来を託す子どもたちのための新しい教育システム整備プロジェクト

・目的、概要

高度情報社会の発達や国際化、少子化に代表される地域社会の急激な変化への対応として、地域全体で子育てを行うための仕組みを再構築するとともに、将来ともに地域に残りうる教育システム(幼小中一貫教育)を整備し日南市の教育理念を踏まえた日南市の目指す子どもの姿を実現することで、地域はもとより、世界の各地域でその資質と能力を発揮できうる人材の育成を目指す。

そのため、日南市北郷町地域における幼稚園・保育所の統合による認定子ども園の設置、小学校2校の統合と合わせて中学校を併設した小中一貫校を開設するとともに、これらの各施設が同一敷地内で運営され、また一貫し、連続した教育課程で結ぶことにより、幼児期から中学校卒業までの個々に応じた教育システムを構築する。

さらに、地域全体で子育てが可能になるよう、認定子ども園には子育て支援センターを併設するなど保護者の子育てに対するサポート体制の整備も併せて行う。

・具体的な成果目標

平成21年度までに

- ①小学校2校を統合により1校にし、小学校、中学校を併設することで小中校の1校とする。
- ②幼保の一元化により、現在の保育所2施設、幼稚園1施設を1つの施設にする。
- ③保育人員を現行100人から136人を目指す。

・事業費

2, 134, 805千円(平成21年度 142, 251千円)

・プロジェクトを構成する具体の事業・施策

幼保一元化施設(認定子ども園)開設

市内(旧北郷町地区)の幼稚園1ヶ所、保育所2ヶ所が公立であることを生かし、両方の機能を生かした幼保一元化施設を開設する。また、本施設には子育て相談や子育てに対するサポートが可能となるよう子育てサポートセンターを設置し地域ぐるみで子育てを支援する機能を備えていく。

小中一貫校の開設

小学校2校、中学校1校の統廃合を含む小中一貫校として併設することにより、一貫して連続した子どもの成長・発達段階に応じた教育システムを構築する。また、これらの施設は、幼保一元化施設と同一敷地内に建設することで、異年齢間のふれあいを通じて他人に対する思いやりや心豊かな人間関係を醸成する。

幼保小中一貫教育課程の編成

3歳児から15歳児までを見通した一貫性があり、しかも連続した教育課程を編成することにより、学習の習得状況や生活の状況などが恒常的に幼・保・小・中の教員同士の連絡連携が可能になることにより、児童生徒の学習におけるカルテの共有が可能となる。また、北郷町独自のふるさと学習や、国際コ

コミュニケーション能力の育成のための英語学習等の取り組みを行う。

・担当課

北郷教育課 教育係 TEL0987-55-2111(代表)